

一般質問

祭り会館オープンに向けてのスケジュール
祭り会館の開館時期は!?

杉本議員 祭り会館の建設は、観光誘客の拡大を図っていくという重い課題であり、さらに市政の活力向上を図るために期待の大きい事業である。いつごろまでにオープンできるのか、目標や時期について伺う。

不嶋市長 七尾が誇る4大祭りなどを紹介し、新たな観光誘客の核となる施設として祭り会館を建設したい。今年度は、それぞれの祭りで展示できる現物調査を行い、祭りの雰囲気や迫力、臨場感のある展示方法のほか、祭りの段取りの流れが分かる見せ方の検討なども行う計画である。また、祭り当日に再び七尾を訪れて、その祭りを見たいと思っただけでなく、目録や時期について伺う。そのため、7月に祭り関係者や観光事業者などからなる整備検討委員会を動かし、基本構想をとりまとめていきたい。来年度はこの基本構想に基づき、実施計画、さらに耐震工事なども進めていく。さらに、展示用の映像データの収集、展示方法の最終的な詰めも必要であるため、時間は多少かかる。こういったところをしっかりと詰めて、軸度を高めて、作り込んでいきたい。現段階では、オープンは、平成32年度以降になると理解していただきたい。

- 【その他の質問項目】
- 南地区土地区画整理事業
- 七尾港の現状と振興策
- ごみ焼却場建設



杉本 忠一 議員 (等政会)



青柏祭「でか山」

一般質問

国保について

国保の都道府県化でどう変わるのか!?

議員 ①県が市町村に納付金の負担額を提示する際、県が市町村ごとの標準保険料率の試算結果を示していると思うが、石川県が示した内容はどうなのか。また、仮算定値を公表した結果、多少の緩和策を講じても大幅な国保料の引き上げが予想されるが、どういった認識か。②県が定めた標準保険料率を参考に、市独自の算定方式や独自の対応ができることは理解しているのか。③国保が都道府県化されても社会保障たるに値する制度運営が求められるが、どう考えるのか。

津田健康福祉部長 ①平成30年度からの国保の都道府県化に向けて、石川県でも昨年度から納付金の算定方式等に市町と協議を行っているが、国の公費がどのように配分されるかなど変動要因により大きく変わる可能性があるとして、試算結果を公表していない。また、資産の前提条件により、さらに変わっていくため七尾市の納付金等がどのように示されるのか、現時点では見通すのは困難。②平成30年度の国保料は、県が示す標準保険料率を参考に、財制調整基金の活用を含めて、七尾市として保険料率を決める。③制度運営についても、低所得世帯に対して保険料の軽減を行うほか、分割納付のための納付相談を行うなど、都道府県化以降も七尾市の被保険者のために適切に運営していく。

- 【その他の質問項目】
- 就学支援
- 介護保険
- 臨時職員
- 子ども医療費
- 住宅リフォーム制度
- 臨時福祉給付金



議員 和典 和典 (無会派)



国保の納付書 (見本)

一般質問

「新」朝日小学校の通学路の安全対策と
周辺整備

学校近くの踏切の安全対策を!

伊藤議員 来年開校の朝日小学校の通学路の安全対策は、小学校に通う児童の保護者にとって懸念材料。学校近くの踏切は、大変危険で、地域小ランティアの誘導が必要である。この踏切が危険なため、もう一方の羽咋寄りの踏切を利用することも検討しているようだが、通学路の安全対策として、どのような計画をしているのか。また、市と県とJRの協議のなかで、七尾寄りの踏切の道路の拡張と踏切の拡幅を計画しているようだが、現在の状況はどうなのか。

浦辺教育部長 安全対策として、登下校時の児童を見守る通学路安全推進員を地元の協力を得ながら、しっかりとお願いし設置することとしている。また、通学路の安全対策について、保護者、地域、学校で構成する徳田・高階小学校統合協議会のなかで協議を行う。

栗津建設部長 県は、JR七尾線との交差する道路について、一般県道池崎徳田線工事改良工事で踏切を新設して、平面交差にする計画である。用地取得については、地権者との合意形成が課題となっているが、市と県と協力しながら関係者に理解をいただけるよう進めていく。

- 【その他の質問項目】
- 子育て支援の強化
- 障がい者雇用の推進
- 防災、減災に資する安全な道路等の整備
- 子ども見守りシステム



伊藤 厚子 議員 (無会派)



朝日小学校近くの踏切